

令和5年度 社会科 授業改善推進プラン

大田区立池雪小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

高学年に関しては、平均正答率が目標率を上回っており、昨年度の授業改善プランが効果的に成果を上げたと考えられる。

昨年度は、複数の資料や地図から情報を読み取り、関連付けて考えることに重点を置いて指導した。また、タブレットを活用して、課題を解決するのに適した資料、情報を集める活動を設定した。

(2) 課題

中学年では、とくに資料を読み取る問題の正答率が低かった。高学年でも、資料の活用問題は他の問題と比べて正答率が低かった。

- ・資料から何を読み取ればよいか、読み取りの視点を与えたり、何を調べるために資料を活用するのか、活用の目的を考えさせたりしながら、資料の読み取りを行っていく。
- ・タブレットを活用して、課題を解決するのに適した資料、情報を集める活動を引き続き設定していく。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和5年度結果	令和4年度結果	令和3年度結果
第4学年	平均正答率が、「基礎」は目標値を下回っており、「活用」は上回っている。	/	/
第5学年	平均正答率が、目標値を上回っている。	平均正答率が、目標値を上回っている。 (第4学年時)	/
第6学年	平均正答率が、目標値を上回っている。	平均正答率が、目標値を上回っている。 (第5学年時)	平均正答率が、目標値を上回っている。 (第4学年時)

(2) 分析（観点別）

① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
全体の平均正答率は、目標値より若干下回っていたのでやや課題があるといえる。特に「資料の読み取り」問題の正答率が低い。用語・概念の理解にも課題が見られる。	全体の平均正答率は、目標値を上回っていたので学習の状況は概ね良好といえる。仕事の工夫を考え表現することは目標を上回っている。知識・技能とのバランスに課題がある。	全体の平均正答率は、目標値を上回っていたので学習の状況は概ね良好といえる。

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
全体の平均正答率は、目標値を上回っていたので学習の状況は概ね良好といえる。 単一の資料の読み取り問題は目標値程度かそれ以上の正答率である。	全体の平均正答率は、目標値とほぼ同等かやや上回っていたので学習の状況は概ね良好といえる。しかし、複数の資料を組み合わせる問題の正答率が低い。	全体の平均正答率は、目標値を上回っていたので学習の状況は概ね良好といえる。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 資料の読み取りの視点を教える。 学習問題を解決するために必要な情報を資料から探し、抜き出す活動を設定する。 写真やグラフなどの資料のどこから読み取ったかを確認する。 見学やゲストティーチャーとの学習など、なるべく体験的に知識を理解させる。 ICTを活用し、用語や概念をイメージできるように示す。 	<ul style="list-style-type: none"> 資料から考えたことを表現するときに、情報の出どころや根拠をきちんと付け加えるように指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元の初めは、自然と学習問題につながるような流れで導入し、学習問題を解決したいという意欲をもたせる。 見学前に問題について予想をさせ、確かめたいという意欲を高めるようにする。 児童にとって身近な題材から資料を準備し、興味関心を高める。

(2) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 授業で地理的な話題が出た時は、普段から地図帳を活用するなど、資料を活用する技能を高める。 グラフを読み取る力を高めるために、次の手順を習慣化していく。 <ol style="list-style-type: none"> 1. グラフのタイトル 2. 出典と発行年 3. 縦軸と横軸 4. 全体の変化の傾向 5. 変化の大きい部分 資料を活用して調べる前 	<ul style="list-style-type: none"> 複数の資料を比較したり組み合わせたりして考える活動を設定する。 単元を超えて、既習の見方・考え方を適用して考える場面を設定する。 調べたことから考えられることを、タブレットを使って友達と共有し、様々な観点から話し合うことで、多面的に考える力を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元の導入の資料を工夫し、興味関心を高める。 調べる前に、学習の問題について予想したり、話し合わせたりすることで、予想を確かめたいという意欲を高める。 タブレット PC や ICT 機器を活用し、児童の興味・関心を高めるようにする。 学習した内容が自分の生活と密接に結び付いていることに気付かせ、意欲を高

<p>に、問いについて予想したり話し合わせたりすることで、「予想を確かめるために必要な資料・情報」を明らかにする。</p>		<p>めるようにする。</p>
---	--	-----------------